平新報

發行日毎月三回 五ノ日發行
編輯兼發行印刷人 山野邊庄吉
發行所 福島縣平町南町七七 平新報社
廣告料五號十二字詰 一行一回五十錢 場所指定倍增
誌料定價共一部金十錢

新築落成せる 植田小學校

拾日祝賀式擧行 附繪書書展覽會

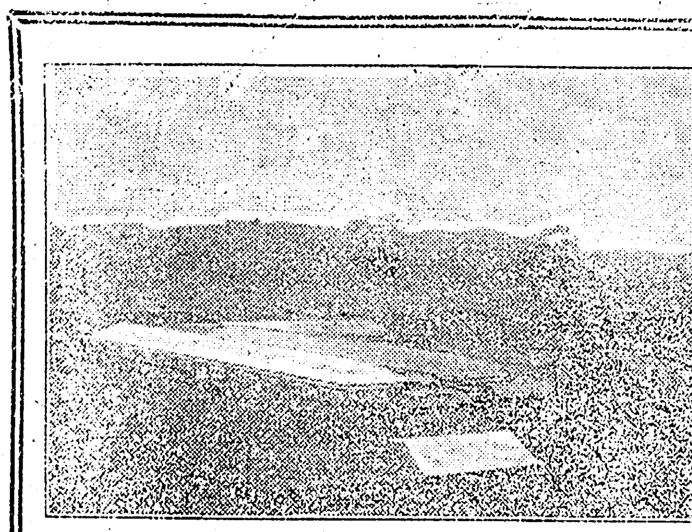
拾一日は秋季運動會 餘興に芝居・花相撲等々

植田町では、北部字八合田地五千三百八十坪を敷地に買收して埋立、小學校を新築した、五萬五千圓の建築費合算工費八萬七千四百五十圓、總坪數五千三百八十坪、平家三棟、尋常科十三學級高等科四學級の建坪總數八百六十坪の大建築は見事竣工して來る十日午前九時よりそが新築落成式を擧げる事となつたので植田消防組では落成式祝賀の爲協贊會を組織して盛大なる祝賀會を催す事となつた、當日の式順は左の通りであるが、擧式に先立ち、十日午前八時新校々庭に消防組を招集して金馬簾の授與式をあげて後、新校舍玄關に祭壇をしつらへて宮川神職司會の下に地鎮祭「あとしづめ」を執行して式に移る、

午前十時落成式擧行

一、式辭　篠原保治
一、君ケ代合唱　生徒一同
一、勅語奉讀　校長
一、工事經過報告　助役
一、工事功勞者表彰
一、來賓式辭
一、被表彰者答辭
一、學校長答辭

以上の順序で式を擧げて後校庭に於て消防組主催の歌舞伎芝居、花相撲あり、此間絶えず煙火を打ちあげ興を添へると。



新築落成せる 植田小學校

表彰さるゝ人々 前町長他卅餘名

此度新校舍落成に功勞ある前町長馬上誠一氏を始め現町長、助役、書記「七名」新舊學務委員「六名」町議十一名、工事請負の常盤工業代表、加藤新氏「常務取締役」及び瓦屋五名の三十餘名を表彰すると。

秋季運動會

十一日は引續き秋季陸上運動會を催すが石城郡内十校の選手、尋常科男女十六名宛高等科男女十六名宛の百米競爭及び八百リレー等あるが全町あげて寄贈の賞品山の如く近來稀れにみるの盛會であらうと。

展覽會 十日十一日

朝鮮、臺灣、北海道、其他郡内各校よりの出品數々

落成式當日は兒童作品展覽會を催すが、同校兒童作品以外に、縣內外八十三小學校生徒の出品あるが、殊に小池縣視學の斡旋により『臺灣』卑南小學校、末廣高等小學校、呂家公學校、太平公學校、新莊尋常小學校、『北海道』八雲小學校、八雲中學校、山崎尋高小學校、樺太船見尋高小學校『朝鮮』龍山小學校京城元町尋高小學校、麻浦公立普通學校『旅順』第一尋高小學校、の十三校の作品中鮮朝麻浦公立普通學校尋常科三學年二組閔仁熙及び第一學年景光鎭の『諺文』の清書は珍らしいもので各その地方の風物を表はした圖畫は一二日の展覽だけでは惜しいものと言はれて居る此外磐城中學校よりも生徒の繪畫作品並びに特に同校教諭の作品數點の出品があると

夜は假裝行列

夜に入つては消防組に負けず同校同窓會及青年團主催の假裝行列を催すと云ふが同日午後五時迄に新校運動場に參集して六時より全町を練り同九時新校庭に戻つて萬歲三唱の後散會すると尚假裝行列には何人も參加するを得るのであるから珍妙な假裝あるべく青年團などには今より準備に忙しく同夜は見物の腹の皮をよらせる事であらうと笑ひをこらへて待ち設けてゐると。

同校請負 常磐工業社の業績と發展

植田尋常高等小學校新築を請負つた、常磐工業株式會社は資本金四拾萬圓金拾萬圓拂込みで大正九年九月創立にかゝり專務取締役小野庄一氏、常務取締役加藤新氏が經營の任に當り、東京市淺草に出張所を設けて、埋立、建築工事の請負を手擴く扱つて居るが、此度の植田小學校の建築は、昨十五年九月埋立に着手し、本年一月に埋立を終り、二月一日建築に着手して六月二十日竣工したるものなるが斯くの如き相當大なる仕事を短時日に完成せるにみても如何に其の基礎が充實せるか推して知るべしで功勞者として表彰さるゝも當然であらう

因に同社は玉川村小學校湯本町小學校其他郡內の小學校の建築工事を請負ひたるもの多しと

落成雜觀

新校舍建築に際し、將來發展の見込みある植田町としては當然なるも豫算其他の都合にて、斯くも廣濶の必要なく、校舍の如きも二階建てにしてはとの議論あり縣廳方面にも其意嚮ありしものゝ如くなるも、人口稠密せる都會地とは違ひ地價も安く建築物耐久性及び風當り等を考へる時二階建は策の得たるものにあらずとて、町長佐川龜太郎氏並に篠原校長等の努力に依り斯くも廣莊なる新校舍の出現を見たる全町の人々は、落成式祝賀に全力をあげ殊に消防組にては協贊會を組織して十日朝まだき一發の煙火を合圖に全員總出動、新校庭に參集して授與さる金簾一振りサッと旭光に輝く壯觀は定めし當日の觀衆を熱狂さす事であらう『十月九日記』

祝植田小學校落成

植田小學校

篠原保治　齋藤齊
小野五一　下山田健
安島幹雄　天野重治
吉田集安　菱沼僐
佐藤佐甚　秋山類次
山野邊嘉夫　齋藤弘
皆川勝一　渡邊綱治郎
半石太郎　高橋ツチ
高濱光子　曾我ノブ
堀江ツカ　古川タイ

祝植田小學校 新築落成（植田町）

町長 佐川龜太郎

縣會議員 鷲清昇

植田水力電氣株式會社 社長 金成通

縣會議員 古川傳一

金物雨鐵屋 佐藤松之助

新炭木材輸出 渡邊重三郎商店 植田驛前 電話一〇番

旅館 喜多野屋支店

若松屋旅館

荒物商 山形屋商店 電話園三〇番

合資會社瀬谷商會 代表社員 瀬谷圓藏

植田消防組頭 坂本龜太郎

渡邊德之助

醬油味噌釀造元 大平喜治商店 電話七十一番

小野保

植田町 鈴木海

山田屋 本館 別館

磐城無盡商會

森合醫院（內科）

私立 植田裁縫女學校

御料理・西洋料理 浮世 電話二〇番

縣下町長大會

九、拾日 湯本町に開催

一行は小名濱、江名濱等を視察 協議事項等左の如く、歡迎に力むる湯本、小名濱、江名町

本年度縣下、町長會議の會場を湯本町に確定し愈々九日及十日の兩日湯本町に開催する事となつたが、湯本町にては始めての事とて町長初め役場吏員は其の準備に忙殺されてゐる、

出席者は、縣下四十四町長〔湯本町長共〕其他本縣廳より事務官三名、屬官四名及び招待者で約六十名程であると

會議は 九日午前十時湯本小學校に開かれ、縣廳よりの、注意事項あつて後各町長より諮問事項の協議に移る由なるも今日〔十月七日此稿〆切り〕迄は、平町、岩瀨郡須賀川町、伊達郡保原町の三町長〔別項參照〕提出諮問事項のみである。

九日は夕刻迄會議を續けて同町に一泊し夜は同町發起の歡迎會に列し、翌十日午前中に會議を終り、小名濱町長及び江名町長の招待で小名濱町江名町を視察をなし同日湯本町にて散會する順序であるが、尚ほ時間の許す範圍に於て同町近山入山其他の炭礦を視察の豫定であると、

三町長提出の諮問事項は左の通りである。

◈平町長提出

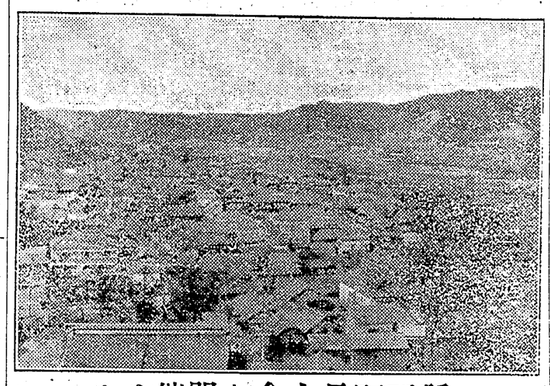
一、昭和二年一月內務省訓令第三、第四條の調査回答を迅速に取扱ふ事

一、戶籍法並に寄留法に依る期間遲怠過料を町村收入とするを上申の事

一、縣費補助指令を遲れざる樣本縣へ申請する事

一、縣稅車の鑑札に交附の町名を附する事に改正方上申の事

一、健康保險料の徵收處分は保健署に於て直接處分方申請をなす事



縣下町長大會を開催さる

復湯の湯本町全景

協議事項

一、寄留届出の勵行方法

一、他町村に車體を置くものゝ取締方法

一、種痘法小學校令等による相互の通知勵行方法

◈保原町長提出

一、府縣制第十六條及衆議員選擧法第二十四條中議員候補者より届出づる投票立會人の届出期日を、〔選擧期日の前々日〕迄と改正方を其筋へ建議の事

一、健康保險法第十一條中徵收金を滯納する者ある場合に於て保險者の申請ありたる時は市町村は市町村稅の例により是を處分す〕とあるを〔保險者は市町村稅の例により是を處分す〕と改正方を其筋に建議の事

須賀川町長提出

一、法律、命令等の公布は關係部門每に別紙とせらるゝ事に官報の樣式改正申請の件

一、選擧資格調査の完全を期する施行を設定の件

尚ほ當日は右記の外の提出事項あるものゝ如くである、

復活の温泉

湯本町では、此際復湯せる温泉町を廣く紹介する爲九日夜の歡迎會席上にて同町美妓連の温泉節を唱はせるが歌詞は左の通りである。

◈湯本温泉ぶし

湯本温泉昔も今も
湧いて流れて盡きやせぬ
温泉ホン松

湯本湯の町七色さつね
紅いボンボリ湯氣の中
温泉ホン松

都はなれてまどろむ隙に
汽車は湯舟の横につく
温泉ホン松

湯本よいとこ東は海よ
西は湯の岳赤井岳
温泉ホン松

お湯も戻れば女房ももどる
金も湧き出す子もできる
温泉ホン松

來たら寄らんせ磐城の湯本
お湯は流れて客を待つ
温泉ホン松

外じや見られぬ湯本の景色
いつも浮氣の花さかり
温泉ホン松

豐間燈臺ぐるりと廻る
私しやりん氣で氣がまはる
温泉ホン松

縣社に昇格せんとする……温泉神社

屋根修築のため社總代若松氏等奔走

湯本町鄕社温泉神社の屋根を修繕するの必要あり、修繕費約四千圓の見込みの爲め、若松利惣次氏外數氏が委員に選ばれ其修繕費寄附金募集に奔走してゐる。

因に温泉神社は近く縣社に昇格する事となつたと

歡迎町長大會開催地 湯本町

◎湯本町

町長 高木己之吉

吉田恭平商店

入山採炭株式會社

鈴木屋自動車部

湯本町藝妓屋組合

磐城湯本 温泉旅館 松柏館 電話五番

館主 比佐榮一

惣善寺住職 森文雄

山形屋旅館 館主 鈴木康平

湯本信用無盡株式會社 社長 鈴木康平

郵便局長 鯨岡潔

◎小名濱町

磐城水産工業株式會社 社長 小野晋平

町長 鈴木榮

磐城海岸軌道株式會社支配人 丹野寛平

水野技藝裁縫女學校

久保田醫院

平町南町 電話一二九番

内科、小兒科、皮尿科 藤沼醫院 平町紺屋町 電話五〇七番

高久病院 平田町 電話五一三番

肺結核、肺尖加答兒、肋膜炎の優秀藥が始めて出來ました。

特効新藥 スーパー錠 十一日分七圓 卅三日分廿圓

幾多の實驗者が立證せる効果は……

一、熱は日に增し下る 一、咳嗽及啖がなくなるか又は少くなる 一、盜汗が全くなくなるか又は少くなる 一、食慾が增進する 一、倦怠がなくなる 一、呼吸困難が樂になる 一、安眠が出來る 一、肋膜炎は水が除れる

縣下代理店 平町五丁目角 山野邊藥局

中學服特賣

優等品にて 昨年より各壹圓貳拾錢安

中學一年生位用 一金四圓四十錢

同 二年生位用 同 四圓六十錢

同 三年生位用 同 四圓八十錢

同 四五年位用 同 五圓也

但し磐中平商金釦付貳十錢高

平町二丁目 電話二〇三番

なかや洋服店